

# 鎮西25演習

平成二十五年度方面隊実動演習

平成二十五年度自衛隊統合演習



# 湯布院

第 51 号

発行者・由布市湯布院町川上  
発 行・湯布院駐屯地後援会  
印刷所・大野印刷株式会社

## 25JX・方面隊実動演習

十一月一日(金)から十一月十八日(月)の間、西部方面特科隊は、「鎮西25演習」に参加し、陸海空統合による協同対艦攻撃及び着上陸における統合火力調整について演練した。



統合輸送(民間フェリー)により石垣島へ上陸する第五地对艦ミサイル連隊の車両

鎮西25演習には、西部方面特科隊から、特科隊長 渡邊金三二等陸佐、以下二百四十一名が参加した。本演習においては、第五地对艦ミサイル連隊の他、第三地对艦ミサイル連隊、第四地对艦ミサイル連隊が参加し、沖繩から、宮古島、石垣島にかけて各連隊を展開・配置し、海・空自衛隊と協同した対艦攻撃要領について演練した。

また、着上陸訓練には、第一二大隊長井上三佐以下の隊員が参加し、国内実射が初となる統合火力の実射訓練を、海・空自衛隊との協同訓練として実施した。



### 西の砦

面訓練共に大きな教訓を得るとともに所望の成果を確認し終了した。

### 現地で作業する隊員



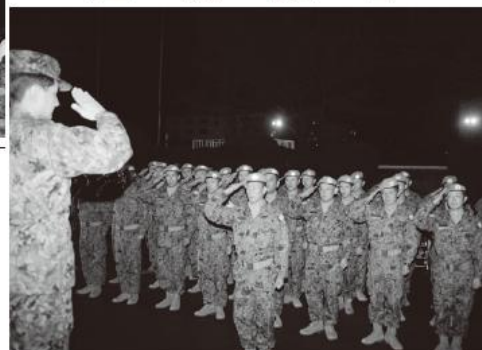
山内隆司二等陸尉が駐屯地司令(渡邊金三二等陸佐)に対して任務終了報告を実施。駐屯地司令は「治安が不安定と報じられる中、規律を保持し活動できたのは、平素からの訓練の賜物であり駐屯地の誇りである」と述べた。



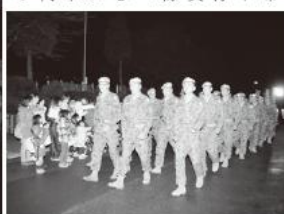
是非、由布院温泉へ!!

第一〇一特科直接支援隊  
二等陸佐 松井 健一

## 任 務 終 了



十二月二十一日(土)湯布院駐屯地において、南スーダン派遣施設隊の出迎え行事が実施された。派遣隊員三十名は、正門から本部隊舎前までを徒歩で行進し、隊員家族及び隊員約三〇〇名が派遣隊員を労い温かい大きな拍手で出迎えた。本部隊舎前で、派遣隊員を代表して第三六八施設中隊の



## 南スーダン派遣隊員出迎え行事

### コーヒータイム



寒い季節から、白く立ち昇る湯煙を見て、温泉に入つてゆっくり出来たらとホッと心暖まる感がある。温泉の効能は、昔から湯治」という言葉がある様に、体を温め、血行を良くし、免疫力を高め、ホルモンのバランスを整え、皮膚細胞を活性化し、精神的にもリラックスさせることで、皮膚疾患はもちろん生活習慣病、リュウマチ、神経痛等に対する自然治癒力を高められる。

家庭の風呂も、身体を温め、心身の疲れを取ってくれるのが、温泉に比べて一定の成分が入っていないうに、塩素で消毒された水道水を使っている点異なる。また、今時の「温泉」はお湯を浄化して殺菌し、何度も使用することが多く、家庭の風呂よりも汚い可能性があるので注意が必要と思われる。

やはり温泉も食品と同じで古くなると酸化するため、「鮮度」が大切であり、100%源泉かけ流しが本物の温泉といえる。本物の温泉に囲まれた環境に感謝し、心身のリフレッシュに、今週辺り温泉に行ってみてはいかがでしょうか？

### 昇任者の紹介

- ★二等陸佐へ  
山本英一郎(隊本部)
- ★一等陸尉へ  
明石 猛(隊本部)
- ★二等陸尉  
鹿田 新吾(業務隊)
- ★准陸尉へ  
三番 勝次(一三二特大)  
柳田 浩司(一三二特大)  
内田 孝一(二六八施設)
- ★陸曹長へ  
綾部 英樹(本部中隊)  
秋吉日出夫(本部中隊)  
遠嶋 茂(本部中隊)  
伊吹 正(一三二特大)  
山下 大西 晃仁(一三二特大)  
山口 慎吾(一三二特大)  
藤本 一春(一三二特大)  
松村 重信(一〇二直支)  
林 正樹(一〇二直支)  
渡邊 賢(二六八施設)  
吉光 勝二(業務隊)

### 第五地对艦ミサイル連隊



平成二十六年二月九日(日) 健康駐屯地において、第五地对艦ミサイル連隊(徳橋治志一等陸佐)は、連隊創設十六周年記念行事を実施した。

記念行事を通じて、連隊の団結の強化及び士気の高揚を図るとともに、連隊協働力会及びOB会との親睦を深めた。

### 駐屯地成人行事



湯布院駐屯地において、平成二十六年一月九日(木)駐屯地成人行事を開催した。来賓には、由布市防衛協会会長・由布市長(首藤泰文氏)、西特隊、三群OB会長(渡邊輝政氏)、湯布院後方支援隊OB会長(平山勝治氏)を迎え盛大に実施した。

今年、駐屯地として四十八名が成人となり、そのうち教育参加者を除いた三十八名が行事に参加した。当初、駐屯地司令から、参加者一人一人に記念品が贈られた。

今年、駐屯地として四十八名が成人となり、そのうち教育参加者を除いた三十八名が行事に参加した。当初、駐屯地司令から、参加者一人一人に記念品が贈られた。

### レンジャー隊員出迎え

湯布院駐屯地では、十一月二十一日(木)第三十五期レンジャー教育を終了した隊員の出迎え行事を実施した。別府駐屯地で約三ヶ月の厳しい教育を乗り越え、無事に帰隊した第一二特科大隊第一中隊の柏木佑太二等陸曹は、顔にドーラン、装具等を身に付け、正門から入門し駐屯地隊員から盛大な拍手で出迎えられた。柏木二等は、「教育はともかく大変でしたが、その分得るものは多く、体力・精神力・忍耐力・知識・技



能いいろいろな部分で成長することができました」と感想を述べた。

第一二特科大隊 第一中隊 二等陸曹 柏木 佑太

### 駐屯地安全祈願行事



一月十五日(水)湯布院駐屯地において、町内の宇奈岐日女神社から神主様にお越し頂き、安全祈願行事がお越しく行われた。当日は、雪の降る寒い日であったが、駐屯地敷地内に設けられた「安全の護り」の碑を前に各部隊長及び部隊代表者が参列し、各部隊長が玉串の奉奠を行い、駐屯地及び各部隊の二十六年の安全を祈願した。

### 年忘れ行事

十二月二十日(金)湯布院駐屯地では、駐屯地曹友会が計画、駐屯地修観会が協賛し、隊員家族を含めた年忘れ行事「じゃんけん大会」を開催した。初めに行われたじゃんけん大会では、参加隊員約六〇〇名から六名が賞品をゲットすると、次の部隊対抗綱引き大会では、人数制限を行いトーナメント方式で力を競った。年末最後の行事ともあつて、大きな声援と色とりどりの



十二月二十日(金)湯布院駐屯地では、駐屯地曹友会が計画、駐屯地修観会が協賛し、隊員家族を含めた年忘れ行事「じゃんけん大会」を開催した。初めに行われたじゃんけん大会では、参加隊員約六〇〇名から六名が賞品をゲットすると、次の部隊対抗綱引き大会では、人数制限を行いトーナメント方式で力を競った。年末最後の行事ともあつて、大きな声援と色とりどりの

### 年末司令点検

駐屯地司令は十二月十九日(木)、各部隊の勤務隊舎及び生活隊舎の点検、休憩間における勤務及び即応態勢を確認するため年末年始休暇前点検を実施した。各部隊は、計画的に点検・清掃等を行い即応態勢を確立した。

### 臨時定期表彰

- ★四級賞詞(職務遂行)  
▼第一二特科大隊 一尉 下村 孝弘
- ★四級賞詞(重而無事故)  
▼第一二特科大隊 一曹 大庭健二郎
- ★五級賞詞(職務遂行) ▼本部中隊  
三曹 佐藤 奈子  
三曹 右田 健太
- ▼第一三特科大隊 士長 矢幡 春樹
- ▼第一三特科大隊 曹長 阿南 優  
三曹 山下 崇悟
- ★五級賞詞(重而無事故) ▼第一三特科大隊  
一曹 安藤 智洋
- ▼第三〇観測中隊  
二曹 佐藤 優  
三曹 中島 亮太  
三曹 和田 英樹  
三曹 添田 剛史  
三曹 吉田 恭兵

### 冬期駐屯地部隊家族間コミュニティ



餅つき大会

餅つき行事では、駐屯地体育館で実施した。初めに行われたじゃんけん大会では、参加隊員約六〇〇名から六名が賞品をゲットすると、次の部隊対抗綱引き大会では、人数制限を行いトーナメント方式で力を競った。年末最後の行事ともあつて、大きな声援と色とりどりの



綱引きの結果  
優勝 第三〇観測中隊  
準優勝 第一三二大隊第三中隊  
第三位 第一三二大隊本管中隊  
第一三二大隊第二中隊



# 西部方面特科隊

## 第一・二特科大隊 第三中隊長交代

着任中隊長  
一等陸尉  
**野添 剛光**

(前職務)  
特科隊本部連絡幹部  
(要望事項)  
絆



離任中隊長  
一等陸尉  
**下村 孝弘**

(現職務)  
大隊本部第三係



## 駐屯地 最先任上級曹長交代

上番最先任上級曹長  
准陸尉  
**板村 浩**

(前職務)  
第一三二大隊  
最先任上級曹長  
(勤務方針)  
あるべき姿の追求



下番最先任上級曹長  
准陸尉  
**原 茂登喜**

(経歴等)  
約二年八月月最先任上級曹長を歴任され、平成二十六年三月十九日付で定年退官されました。



これから宜しく  
お願いします。

大変、お疲れ様でした。第二の人生、更なる活躍を祈念します。健康に留意され頑張ってください。

# 隊銃剣道競技大会

## 心・技・体

試合結果は次の通り  
団体戦

十二月十七日(火)から十八日(水)の二日間に行われ、西部方面特科隊は、駐屯地体育館において平成二十五年度銃剣道競技大会を実施した。競技会には、西特科・三群OB会長長(渡邊輝政氏)をはじめ、OB会副会長(米田大作氏)、OB会事務局長(江川克一氏)をお招きし、白熱した試合を観戦いただいた。各中隊は、日頃の訓練成果を〇〇%発揮し、木銃の先端に渾身の気合いを入れて、優勝を目指して試合に挑んだ。

個人戦

▼幹部の部 (十六名の頂点)  
優勝 第一三二大隊本部  
準優勝 井 二尉  
第三〇二観測中隊  
長崎 二尉  
第三位 第一三二大隊第三中隊  
横山 一尉

▼陸曹の部 (四十四名の頂点)  
優勝 第三〇二観測中隊  
中島 二曹  
準優勝 第五地对艦第三中隊  
奥村 三曹  
第三位 第一三二大隊本管中隊  
川野 二曹



表彰式

## 方面優秀隊員

平成二十六年二月二十八日(金)、熊本県の熊本全日空ホテルニュースイカイにおいて、特科隊本部の原茂登喜准陸尉が、平成二十五年方面優秀隊員として、西部方面総監(番匠幸一郎陸将)より顕彰されました。おめでとう。ございます。



## 特科隊訓練始め



平成二十六年一月七日(火)雪化粧に染まる由布岳の麓、西部方面特科隊の各部隊は、年間を通じた訓練及び車両運行等の安全祈願を行った。全祈願を行った。各部隊の訓練開始は、隊本部において、特科隊長(渡邊金三一等陸佐)以下、駐屯地を駆け足、本部中隊(縫田茂一等陸尉)は、安全祈願、また、日出生台演習場において通信訓練を実施した。

## 平成二十六年の幕開け



第一二特科大隊井上隆二等陸佐は、安全祈願、一年の安全を願う愛情をこめて丁寧に車両の整備を、第一三二特科大隊(田久保智二等陸佐)は、駐屯地で安全祈願、翌日の八日(水)に二十五キロ行軍を、第三〇二観測中隊西秀弘三等陸佐は、安全祈願終了後、町内の宇奈岐日神社まで駆け足で向かい参拝、お払いを実施した。

## 方面通信訓練



隊本部



本部中隊

▼女性自衛官の部 (十四名の頂点)  
優勝 第五地对艦本管中隊  
甲斐 二曹  
準優勝 本部中隊  
富永 士長  
第三位 第一二大隊本管中隊  
原 三曹

十二月九日(月)から十日(火)の間、湯布院駐屯地第一訓練場において方面通信訓練が実施された。第二回方面通信訓練に参加し衛生通信回線との接続要領、無線通信要領を演練するとともに、その訓練の場を活用した第二回隊通信訓練を実施し特科隊の総合的な各種通信能力の維持・向上を図った。参加者の中には、陸士の無縁特技保有者も訓練を視聴し、受信及び翻訳等の訓練を実施させた。

## 佐伯防災訓練



112大隊



132大隊



302観中



合同訓練

## 災害対処訓練

二月十二日(水)から十四日(金)の間、西部方面特科隊は、南海トラフ巨大地震対処構想(研究案)を確立するため、平成二十五年災害対処指揮所訓練を実施した。



研究案報告



状況報告

南海トラフ巨大地震が発生した際の状況の特質を各幕僚が考察した上で、自衛隊(西部方面特科隊)としての対処構想(研究案)を確立した。

### 第一一二特科大隊

一月二十三日(木)第一一二特科大隊(井上隆三等陸佐)は、日出生台演習場篠原地区において、平成二十五年年度砲班競技会を実施し、砲班における陣地進入準備、時間の余裕のない場合の陣地占領、射撃及び撤去の一連の行動における基本的事項・基本的行動について評価・判定するとともに、班員の基礎的戦技能力の向上を図った。



### 第二三二特科大隊

第一三二特科大隊は、平成二十六年二月十二日(水)から十四日(金)の間、福岡県小倉市にある曾根訓練場において、有事における防護部隊として重要防護施設の警戒、特に検問行動を演練し、低強度事態対処能力の向上を図った。



砲班対抗(各中隊二コで、砲班の六〇砲班で実施され、採点は精度・速度・安全管理の三項目の合計得点により厳正に審査された。競技参加者は、中隊及び砲班の名譽をかけ全力で競技に臨んだ。

優勝 第三中隊 第二砲班 砲班長 塩電三曹  
準優勝 第二中隊 第三砲班 砲班長 工藤二曹



確認するため、項目ごとにAAR(現地検討会)を行い訓練に臨んだ。本訓練に際し、大隊長(田久保智二)等陸佐は、「状況を認識し、各人の任務を完遂せよ」と要望し、小隊長・班長の的確な状況判断と隊員一人一人の基礎動作と基本的行動により訓練を終了した。

### 第三〇二観測中隊

第三〇二観測中隊(西秀弘三等陸佐)は、平成二十六年一月十七日(金)から一月二十四日(金)の間、対砲レーダ装置JTPSIRP16導入にともない中隊訓練を実施して戦技能力の向上を図った。

対砲レーダ装置の導入に先がけ、昨年十一月十一日(月)から十五日(金)の間、第四特科連隊(小留登幸)において小隊陸曹(小野澤陸曹長)以下十名で事前検作訓練を受け今回の訓練に臨んだ。中隊訓練では、十五旅団が行う実弾射撃訓練の場を活用し日出生台演習場において弾着標定訓練も実施し、戦技能力の向上を図った。なお、この装置は、76式対砲レーダ装置JMP QIP7の後継装置であり、射撃する敵野戦砲等(多連装ロケットを含む)を遠距離かつ広域にわたり同時多



数標定することができ、且つ、我の各種射撃の観測が実施できる。

### 本部中隊

二月十二日(水)湯布院駐屯地において、第三〇四基地通信中隊の協力を得て、西部方面特科隊が参加した初のNTT西日本との協同訓練に、本部中隊の隊員及び中隊が保有する



器材(電子交換装置)を差し出し、災害発生南海トラフ巨大地震時におけるNTTとの調整、連携及び民間回線を介した相互の連携を、非常時における通信能力の向上を図った。

### 隊戦技競技会

西部方面特科隊は、二月二十六日(水)から二十七日(木)の間、湯布院駐屯地及び日出生台演習場において、隊戦技競技会(無線通信・らっぱ・炊事)を実施し、野戦特科隊員及び部隊として必要な戦技能力の向上を図った。



競技参加者は、定められた規定と状況下のなかで、日頃の練成成果を遺憾なく発揮し、優勝を目指し競技に挑んだ。

また、炊事競技会では由布市役所職員十名をお招きし、災害派遣における生活支援の場を捉えた炊事要領の確認と、炊事部隊が調理した食事の喫食審査を依頼し、所見では「火のとおり

### 格闘特級検定

十一月二十一日(木)駐屯地体育館において、西部方面特科隊格闘集訓参加者九名に対し、格闘特級検定が実施された。当日は、瀬上副隊長が視察し、鋭い



眼差して審査する検定官の前で、受検者も気迫のこもった姿勢で課目に臨んだ。結果は、受検者全員が満点の成績で合格し検定を終了した。

### 予備自衛官招集訓練

西部方面特科隊は、昨年十月から今年二月にかけて、予備自衛官(百八十七名)を受け入れ、計四回(二次、四次)に分けて招集訓練を実施した。

主に、武器訓練・体育訓練・精神教育等を実施した



練・精神教育等を実施した。現職自衛官に劣らぬ訓練態度で取り組み、予備自衛官としての資質も養成され基準に基づく技能練度に達していた。



をよくなるため、器材をも少し小さく」という貴重なお意見もいただいた。

競技結果は次の通り

【通信の部】  
総合優勝 本部中隊  
無線優勝 第一三二特科大隊  
優勝 第三〇二観測中隊  
準優勝 本部中隊

【炊事の部】  
優勝 第三〇二観測中隊  
準優勝 本部中隊

▼個人対抗の部  
優勝 第三〇二観測中隊  
準優勝 第五地对艦 ミサイル連隊第四中隊  
第三位 本部中隊

▼個人対抗の部  
優勝 第一一二特科大隊  
第三中隊 神野士長  
準優勝 第五地对艦 ミサイル連隊 松下士長  
第三位 第一一二特科大隊 第一中隊 安田士長

# 誠意をもって業務遂行

## 駐屯地業務隊

### 沖縄県議会議員等研修支援

一月二十三日(水)、沖縄県議会議員及び沖縄県浦添市議会議員に対し、演習場の概要説明に続き、演習場敷合地区研修及び上ヶ原展望所において実視による演習場の概観等の研修を支援した。



上ヶ原展望所



敷合地区

### インフルエンザ予防対策

十一月一日(金)、外来宿舎及び体育館に体温計消毒液を設置した。  
また、十一月一日(日)、本部隊舎東側玄関にインフルエンザ発生状況板を設置し、情報提供と注意喚起を実施するとともに、九十六号隊舎一階の外来宿舎(二室)を隔離室に指定し、感染防止対策を実施した。

## インフルエンザ予防!

インフルエンザ患者数	
日現在	温帯駐屯地
2/4	0人
0/00	(2/16)
×計	17人

インフルエンザ発生状況板



外来宿舎設置状況

### OBとの連携

十二月七日(土)、OB会総会を支援するとともに、歴代隊長の溝口氏(前後援会事務局長)、平岡氏、安藝氏、河原氏を含むOB二十八名と現職は隊長以下十七名との懇談会を実施し、小川OB会会長の挨拶後、和やかに部隊の昨今について現職とOBが懇親して連携を深めた。



OB・現職隊員との集合写真

### 移動標的設置事前作業

十一月二十八日(土)、第二弾着地に設置している戦車移動標的の装置更新に伴い、延伸工事準備資材(枕木五十本)の搬入・積降作業を実施した。また、平成二十六年二月に旧レールの撤去作業・整地等の軌道路等の整備を逐次実施中。



撤去作業(前)



撤去作業(後)

### 鳥獣害対策対応

十二月四日(水)、大分県西部振興局と日出生台演習場内に設置済みの囲い現地確認及び対策調整会議を実施した。(平成二十六年一月末の捕獲状況は猪四頭、鹿二頭)



現地調整の状況



捕獲した鹿

### 医務室エックス線装置デジタル化

一月七日(火)～二十一日(火)、医務室内部改修工事が完成し、エックス線装置及び歯科パノラマ装置を換装し、診断能力が向上した。



改修工事(前)



改修工事(後)



エックス線装置搬入

### その他の業務



道路標識塗装 (十一月二十一日～二十日)



演習場境界点検 (十一月一月～延べ五百回)



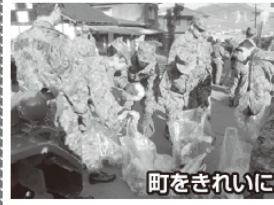
不用決定審査 (二月二十七日)

### 第一〇一特科直接支援隊

平成二十六年の幕明けにふさわしい晴天に恵まれ、氷点下五度の寒空の下、第一〇一特科直接支援隊長松井二佐以下六十八名は、年頭訓練として湯布院町内の清掃活動及び行進訓練を実施しました。

当初、町内の宇奈岐日女神社まで清掃活動(ゴミ拾い)を実施。約十五キロのゴミを回収しました。ジュースの缶やビン、ペットボトルが多く捨てられており、中には傘や車のホイールカバーなどもありました。自然環境や観光地湯布院の景観を損なうゴミが予想以上に落ちていたことに驚くと同時に、地域に貢献できたことを嬉しく思いました。

清掃活動の後、町内の



町をきれいに

宇奈岐日女神社にて、今年一年間の安全祈願をし、事後、駐屯地へ向けて行進訓練を整齊と実施しました。今年、訓練及び服務事故絶無を達成できるよう、隊員の一人として尽力したいと思えます。

第一〇一特科直接支援隊長 陸曹長 三反 秋仁

### 第一〇三施設直接支援大隊 第一直接支援中隊湯布院派遣隊

先輩に誘われて軽い気持ちで始めた登山。今では、日帰り登山だけでなく、単独ソロ登山、山中テント泊登山、アイゼン(クラントポーン)を使用した冬山雪山登山等さまざまなジャンルの登山を楽しんでいます。

どうしてここまで進んできたか自分なりに考えて見ました。登山は基本的に「辛い」行為です。しかし頂上に向かうという明確な目標があり、道中難しい局面もあれば、素晴らしい風景も有ります。色々な出会いも有り老若男女それぞれが挨拶を交わし、それぞれの頂を目指しお互いの健闘を祈ります。すべてが一期

一会なのです。頂上に達し無事下山した時、やり遂げた自分なりの「達成感」に満たされます。その後の温泉、そして何より疲れを一瞬で吹き飛ばす命の水「コビール」を堪能するこの瞬間が至福の一時なのです。登山の魅力はそんな所に有るのかも知れません。また、自衛隊に必要な気力・体力を養うためにも、皆さんも是非登山に挑戦してみてください。そしてこの至福の一時を味わってみてください。

第一〇三施設 直接支援大隊 二等陸曹 高橋 和揮



登山に魅せられて

### 第三六八施設中隊

昨年末、第四次南スーダン施設派遣隊が、無事任務を完遂して帰国しようとした直前に南スーダンで内紛が勃発し空港閉鎖となり、いつ帰国できるか判らず、空港が再開されたにもかかわらず帰国用航空機が故障し代替の航空機が確保できないと判らず、帰国が延期になるのかとハラハラドキドキ心配したが、十二月二十一日に十時間遅れで第四次施設派遣隊が無事に帰国し、南スーダン派遣要員は中隊に復帰して中隊の戦力となった。

新年を迎え、宇奈岐日女神社において、中隊全隊員で事故なく一年の任務が完遂できるように安全祈願をするように今年も日出生台演習場定期整備、群訓練



安全祈願



帰隊報告

### 第三〇四基地通信中隊

平成二十六年一月二十日(三十日)の間で西通群持続走競技会及び中隊持続走競技会団体の部の記録会が各駐屯地で行われた。天候にも恵まれ駐屯地内で三日間に分けて三K mの記録を測定し、日頃の体力錬成成果を出し切った。

前年度は中隊持続走競技会派遣隊の部「優勝」を手にしており本年度は二連覇がかかる大事な年でもあり、各人気合いを入れて出走したが故障者、他駐屯地業務支援等の影響もあり第四位と残念な結果となったが「ピンチはチャンス」を合言葉に一致団結し自衛官として継続し

た体力錬成を行い、基礎となる体力の充実を図り次年度は「優勝奪回」を目標に錬成に励みたい。

第三〇四基地通信中隊 一等陸士 古庄 祥喜



一致団結

### 曹友会

平成二十六年一月十日(金)湯布院駐屯地曹友会は、記念行事で開催した子供広場での収益を元で購入した車椅子を、湯布院庁舎、岩男病院、日野病院の三ヶ所の施設に寄贈した。湯布院曹友会は、今回の車椅子寄贈は3回目になり、曹友会長は「これからも引き続きこのような活動を続けていきたい」と述べた。

駐屯地曹友会会長 陸曹長 吉良 正己



日野病院

岩男病院

由布院庁舎

### 岩男旗争奪銃剣道大会

平成二十六年一月二十六日(日)湯布院駐屯地体育館において、第十回記念岩男旗争奪銃剣道大会が開催された。

本大会を実施するにあたり、駐屯地所在隊員の銃剣道技術・気力・体力の向上及び、部隊の団結・士気の高揚を図った。今回は、部隊から六個チームと初の大部分県選抜高校生チームも一個チーム参加し計七チームで団体戦、八名で個人戦を実施した。

大会成績の結果  
優勝(団体)  
第二三大隊第二中隊  
優勝(個人)  
第二三大隊第三中隊  
陸士長 佐藤 雅己



### 由布市消防団特別点検

一月十七日(金)湯布院町の山崎総合グラウンドにおいて、平成二十六年由布市消防団特別点検が実施された。湯布院駐屯地から渡邊司令が来賓として参加。また、音楽演奏支援で西部方面特科隊音楽部が支援した。



### 県内一周大分合同駅伝

#### 郷土の期待を担って

二月十七日(月)から二十一日(金)の間、春季県体第五十六回県内一周大分合同駅伝大会が開催され、選手要員として湯布院駐屯地から二十九名の隊員が参加し、郷土の期待を担って県内各地を巡る三十八区間、三八五・二kmで健脚を競った。競技三日目の湯布院入りの際、西部方面特科隊音楽部が激走する選手を音楽演奏で激励し会場を盛り上げた。

#### 参加選手の紹介

(由布市)

- 山下 直宏 (本部中隊)
  - 松林 和幸 (本部中隊)
  - 甲斐田修一 (本部中隊)
  - 右田 健次 (本部中隊)
  - 寺本 幸範 (二二特大)
  - 植田 雄一 (二二特大)
  - 田上 公洋 (二二特大)
  - 寺原 浩平 (二二特大)
  - 福海 勇太 (二二特大)
  - 日野 和博 (二二特大)
  - 新木 康平 (二二特大)
  - 金澤 洋晃 (二二特大)
  - 阿比留 優 (二二特大)
  - 陣内 孝則 (二二特大)
  - 中村 敬三 (二二特大)
  - 佐藤 直樹 (二二特大)
  - 勝河信一郎 (二二特大)
  - 石橋 賢一 (二二特大)
  - 松田 直樹 (二二特大)
  - 手塚 和樹 (〇二観中)
- (別府市)
- 木村 孝広 (二二特大)
- (佐伯市)
- 植田 健太 (二三特大)
  - 安倍 正博 (二三特大)

### 全九州自衛隊剣道大会

#### 十二月八日(日)熊本県

菊池市の体育館で実施された、第二十九回全九州自衛隊剣道大会に湯布院駐屯地隊が参加した。大会では強豪を次々と下し、決勝まで勝ち上がった湯布院駐屯地チームは朝者、健軍駐屯地チームを見事破り優勝の栄冠を手にした。



選手紹介  
先鋒 溝田 聡  
次鋒 江口 和宏  
中堅 松野 智也  
副将 小屋 俊祐  
大将 出口 恵貴

### みんなの投稿広場

#### 僕のお父さん

僕のお父さんは、毎朝一番早起きで、由布院の自衛隊に毎日行っています。僕はサッカー好きなので、休みの日にお父さんとお兄ちゃん、弟たちで、サッカーをしています。あとたまに、海に連れて行ってくれます。そこで、つりをして、あしがついたので、感しかつたです。お父さんは、たまにおくと怖いけど、ふだんはやさしいので大好きです。僕も将来、お父さんみたいな自衛官になりたいです。

#### 第二二観測中隊

陸曹長 小野 澄幸  
二男 小学五年生 虹星君



#### 青春を振り返って

早くも自衛隊生活二十七年が過ぎました。自衛隊での青春時代を振り返ってみますと演習、銃剣道、格闘の集合訓練、レンジャー訓練等に汗を流し

#### たのを思い出します。

特に、銃剣道集合訓練では、長い期間集合訓練に参加してもらいました。集合訓練では、「体力、気力」の充実、訓練参加との「団結」の強化、他部隊との交流等貴重な体験をさせて頂きました。また、レンジャー養成訓練に参加した際には、基本訓練、各種状況に応じた想定訓練等、体力・気力の限界に挑戦し、激しい訓練の中で、「達成感」や「挫折」を経験しながら、教官・助教の熱意ある指導を受け無事に訓練を終了する事ができました。

#### よか趣味

私は、体を動かす事が好きで、約七年前から始めたフィールドホッケーという競技を現在も続けています。このフィールドホッケー



第三三特科大隊  
本部管理中隊  
陸曹長 上原 正行

#### という競技は、大分では玖珠町・九重町にしかなく、地元では根強く人気のある競技です。

この競技は、スティックを扱い、土や芝のコートで行います。主なルールはサッカーと似ていて、十一人対十一人で相手のゴールにボールをシュートし得点を取り得ますが、サッカーとは違い細かなルールがあり、ボールが足に当たったり、膝の高さまでボールが浮いたら反則で相手のボールになってしまう。



#### また、

私のポジションはフォワードで、主に点を取る事を要求されます。色々とポジションがかわるポジションですがやりがいを感じ楽しんでいきます。毎年、国民体育大会が行われます。その出場を獲得するために、今、練習に励んでいます。



第三六八施設中隊  
一等陸士 野木 俊史

クリスマス演奏会

十二月十二日(木)から十八日(水)の間、西部方面特科隊音楽部は、由布市内九ヶ所の幼稚園・小学校に対しクリスマス演奏会を実施し、自衛隊への理解と地域住民との共存を目的と活動した。音楽部員の奏でる



曲とリズムカルな音色で、子供達を音楽の世界に引き込み、AKB48の恋するフオーチュンクッキーが流れると、全員が立ち上がりリズムに合わせて踊り楽しい時間を過ごした。各会場の児童からは、御礼の言葉や花束などをいただき再会を約束して会場を後にした。り涙を流すご老人も拝見された。



慰問演奏会

十二月四日(水)から六日(金)の三日間で西部方面特科隊音楽部は、由布市内及び豊後大野市等老人福祉施設(六ヶ所)に対し慰問演奏会を実施し、防衛基盤の健全な育成発展に寄与した。各施設での演奏では、元氣な歌声と手拍子で会場を盛り上げ感動のあま



荻町ふるさと祭り

十一月三日(日)竹田市荻町で第八回荻町ふるさと祭り



りが開催され、西部方面特科隊音楽部の演奏と音品展示支援を実施した。音楽部の演奏が始まると、地元の高校生が正面に座り手拍子などで激励し会場を盛り上げた。部員紹介で新しく入部した、橋原健悟二等陸士と山室勇二等陸士が堂々と演奏する姿に観客から拍手がわいた。装備品展示会場でも96式装輪装甲車(WAPC)の周りにたくさん見学者が訪れ、笑顔で写真撮影や試乗等を行い大盛況であった。

はさまさちよくれ祭り

西部方面特科隊は、十一月九日(土)から十日(日)の二日間にあたり、由布市挾間町で開催された第二十六回はさまさちよくれ祭りにおいて、96式装輪装甲車(WAPC)の装備品展示支援を実施した。会場に訪れた人は、装輪装甲車に乗り込みハッチから顔を出して外をのぞいたり、色々なポーズで写真撮影して楽しんでた。



へり体験搭乗

湯布院駐屯地では十二月八日(日)、協力団体及び隊員家族の方々約五十名に対し、へり体験搭乗を実施した。当日は、天候にも恵まれ最高の飛行日和で、搭乗者は約二十分のフライトを楽しんだ。参加された方からは「感動しました」「まだ、乗りたいです」等の声



退官者紹介

第一二二特科大隊 曹長 末廣 孝美 (別府市) 第三〇二観測中隊 第三〇二観測中隊 曹長 佐藤 祐二郎 (玖珠郡)

第一二二特科大隊 曹長 日永田 淳一 (大分市) 第一二二特科大隊 曹長 川越 一夫 (別府市)

第一二二特科大隊 曹長 小関 忠明 (由布市) 駐屯地業務隊 三尉 工藤 裕二 (由布市)

駐屯地業務隊 曹長 片山 秀司 (由布市) 駐屯地業務隊 曹長 小関 忠明 (由布市)

駐屯地業務隊 曹長 才川 市幸 (大分市) 駐屯地業務隊 曹長 川越 一夫 (別府市)

第三〇二観測中隊 曹長 末廣 孝美 (別府市) 第三〇二観測中隊 曹長 佐藤 祐二郎 (玖珠郡)

第一二二特科大隊 曹長 日永田 淳一 (大分市) 第一二二特科大隊 曹長 川越 一夫 (別府市)

第一二二特科大隊 曹長 小関 忠明 (由布市) 駐屯地業務隊 三尉 工藤 裕二 (由布市)

駐屯地業務隊 曹長 片山 秀司 (由布市) 駐屯地業務隊 曹長 小関 忠明 (由布市)

駐屯地業務隊 曹長 才川 市幸 (大分市) 駐屯地業務隊 曹長 川越 一夫 (別府市)

広報室からのお知らせ

広報室が作成・発信しています、ホームページが新しくなりました。内容は、駐屯地広報誌「湯布院」や各種イベント情報等も掲載しています。是非、御覧ください。

湯布院駐屯地 検索

慶弔

御結婚おめでとう 佐藤香菜子(旧姓・三原) 御出産おめでとう 勝田和彦(二男・煌生) 下村祐一郎(二女・雪乃)

御結婚おめでとう 月足好春 御出産おめでとう 小宮秀忠 長岡毅

御結婚おめでとう 三ヶ尻和也 御出産おめでとう 坂元翔 三ヶ尻和也

御結婚おめでとう 川畑勝義(実父) 御出産おめでとう 芦刈春樹(祖母) 佐藤功一(祖母)

御結婚おめでとう 高橋和也(実父) 御出産おめでとう 高橋和也(実父) 高橋和也(実父)

御結婚おめでとう 坂本一史(実父) 御出産おめでとう 坂本一史(実父) 坂本一史(実父)

御結婚おめでとう 米倉美智男(祖父) 御出産おめでとう 米倉美智男(祖父) 米倉美智男(祖父)

御結婚おめでとう 吉田雄太(祖父) 御出産おめでとう 吉田雄太(祖父) 吉田雄太(祖父)